

北上市建築物最適化計画(案)に対するパブリックコメントの結果と市の考え方について

「北上市建築物最適化計画(案)」に対するパブリックコメントを募集した結果を公表します。パブリックコメントの概要、皆様からいただいた意見に対する市の考え方は次のとおりです。

- 1 募集期間 平成31年1月25日(金)から平成31年2月21日(木)まで
- 2 提出方法 Eメール、持参、FAX
3. 提出者数及び人数 4件(4名)

(提出方法別内訳)

郵送	FAX	持参	Eメール
0	1	1	2

4. 意見の内容及び市の考え

No.	項目	該当ページ	意見の内容	市の考え
1	<ul style="list-style-type: none"> ・学校 (小学校・中学校) ・社会教育施設 (交流センター) 	40、 43(8)、 58、 66(8)	<ul style="list-style-type: none"> ・立花小学校の新設が決定したとのニュースが新聞に載り驚いたが、と同時に東陵中学校が北上中学校と統合そして廃校とのことだが、東陵中学校を新立花小学校にしたら、跡地問題が解決される他に新小学校建築費(数億円)が大事な税金を使わずに済む。さらに、立花保育園と立花地区交流センターを入れれば、複合施設として相当合理的活用が出来ることが期待される。 ・立花保育園は市の施設ではないかもしれないが、建築費補助等は市民や国民の税金が使われるわけだから、使わないもしくは最小限に抑えることを考えても良いはずです。それぞれの計画がそれぞれで進行するから、過去がそうだったように、無駄に税金を使ったり、その場しのぎで将来を見据えない箱物を建造することになる。こういうことは、そろそろやめるべきでしょう。利用者にとっては市の施設とか民間施設とかは問題ではないので、使い勝手を重要視していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・照岡小、立花小及び黒岩小については、老朽化及び児童減少が著しいことから、安全で適切な教育環境を早急に整備するため「3校を統合し新校舎を建設」として地域と市とが合意したものであり、これに沿って施設の最適化を進めます。 ・東陵中及び北上中についても同様に、教育委員会において地域や関係者等と協議を進めながら、統廃合について検討を行っておりますが、最短でも7年以上の期間が必要と思われれます。 ・東陵中の新統合小学校への活用とのご意見につきましては、耐震性不足の小学校である照岡小へ緊急に対応しなければならないことから、東陵中の活用ではなく、新校舎の建設により対応します。 ・施設の廃止後は、原則として、建物は解体、土地は売却や有償貸付などと位置付けています。なお、東陵中の建物は、廃止後に立花地区交流センターとして活

No.	項目	該当 ページ	意見の内容	市の考え
			<p>・防災については、東陵中学校の校庭は崖崩れの危険があるとのことだが、崖崩れ防止工事を施せば事足りるはず。東陵中学校立地場所は高台であり、洪水等の水害にあうことはない。さらに、地下は岩盤で地震のゆれにもかなり強い。問題としては、現在二次避難所の指定があるが、避難所に必要な機材・食糧・備蓄品は何も無いこと。これらから導いていくと、保育園・小学校・交流センター・避難所を複合した施設としては、かつてない程の合理的・機能的・現実的であり、将来を見据えても画期的であると提案したい。子供を持つ親や父兄にとっても、保育園・小学校が避難所であるということは、とてつもなく良いことになる。それぞれに迎えに行く必要がない・親が避難してくるだけという、こんな都合の良いことが現実的になる。</p> <p>・駐車スペースとしては、市内施設を比較すれば、割と多い方であるが、さらに駐車スペースが必要とあらば、東陵中学校北側の空き地を利用してもよいと思う。増設した駐車場は、さくらまつりや花火大会時等に、有効に利用すれば、土日の渋滞解消にも繋がる。</p> <p>・今現在、徒歩で立花地区交流センターを利用している地区民にとっては、移ってしまうと遠くなるので当然のことながら反対する方々もいることではと思うが、巡回タクシー（バス）等の回数を増やす等で対応していただき、地区民に利用してもらいたい。こども達がたくさん集まっていて、賑やかな場所は、地区民や高齢の方々にとって、とても居心地がよく、世代間がふれあう場所としては、最高の場所となるはず。</p>	<p>用する案としていましたが、地域からの御意見を踏まえ、機能変更しないこととし、今後、広く市民の意見を伺いながら活用の可能性を検討することとします。</p>

No.	項目	該当ページ	意見の内容	市の考え
2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校 (小学校・中学校) ・社会教育施設 (交流センター) 	40、 43(8)、 58、 66(8)	<ul style="list-style-type: none"> ・立花保育園と立花地区交流センターが主とした使い方をし ていただきたいです。岩崎地区交流センターのような認定保 育園でも良いと思いますし、立花小学校が使ってもいいので はないでしょうか(新校舎建設に税金を使わずに)。 黒岩、口内、立花、稲瀬の人口増加は殆ど望めないと思 います。新しく校舎を建設したところで、いまの東陵中学校 校舎のような結末を、近い将来迎えることになるとと思いま す。照岡小学校校舎の耐震問題で、新小学校校舎の新設が急 がれているようですが、いくら急いだところで5年後という ことならば、北上中の教室を早く増設して、東陵中学校の生 徒を移動させれば、向こう2年ぐらいで出来てしまうのでは ないですか。照岡小学校児童・父兄が不安で過ごす期間が5 年から2年に縮まってしまうので、とても好都合ではないで すか。立花小学校建設計画を今止めれるかどうかはわかりま せんが、何も(地権者などとの協議)着手していない、今なら なんとかかなと思います。いかに税金を使わずに、効率の良 い対応策を考えるかは市職員の手腕の見せ所です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・照岡小、立花小及び黒岩小については、老朽化及び 児童減少が著しいことから、安全で適切な教育環境を 早急に整備するため「3校を統合し新校舎を建設」と して地域と市とが合意したものであり、これに沿って 施設の最適化を進めます。 ・中学校についても同様に、教育委員会において地域 や関係者と協議を進めながら、統廃合について検討を 行っておりますが、最短でも7年以上の期間が必要と 思われます。 ・東陵中の新統合小学校への活用とのご意見についま しては、耐震性不足の小学校である照岡小へ緊急に対 応しなければならないことから、東陵中の活用ではな く、新校舎の建設により対応します。 ・また、北上中学校は、1957年に建築され老朽化が著 しいこと、生徒数が多く今後も長く使われる見込みで あることから、長寿命化ではなく、建替えることと しています。 ・なお、東陵中の建物は、廃止後に立花地区交流セン ターとして活用する案としていましたが、地域からの 御意見を踏まえ、機能変更をしないこととし、今後、 広く市民の意見を伺いながら活用の可能性を検討する こととします。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校(幼稚園・ 小学校・中学校) ・社会教育施設 (交流センター) 	40、 43(8)、 58、 66(8)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成37年度、北上中学校との統廃合後の東陵中学校跡地の 機能を、立花地区交流センターに変更する計画について、立 花地区としては同意できかねます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東陵中の建物は、廃止後に立花地区交流センターと して活用する案としていましたが、地域からの御意見 を踏まえ、機能変更をしないこととし、今後、広く市 民の意見を伺いながら活用の可能性を検討することと します。 ・なお、現在の立花地区交流センターは、当初「東陵 中学校の建物へ移転」としていましたが、「長寿命 化」に変更します。

No.	項目	該当 ページ	意見の内容	市の考え
4	<ul style="list-style-type: none"> 衛生施設 (保健センター) 	90	<ul style="list-style-type: none"> 江釣子保健センターがさくら野百貨店の西館に移動するとの報道があったが、反対です。明確な数字は覚えていませんが、江釣子保健センターの利用率がかなり高く、移動した場合、この地域の市民にかなり影響があると思われます。駐車場も子供をつれて、立体駐車場利用は危険です。西館の改装費用も億単位のようなのですがそれならば、江釣子交流センターの建替えまで待ったほうが得策だと思われます。是非ご検討を！ 	<ul style="list-style-type: none"> 江釣子保健センターの健康相談での利用者は、年間約 250 人前後となっており一日 1 人平均ですが、このうち成人保健の相談は、年間 20 人前後で月 1～2 人程度となっており、成人相談に関する利用率が極端に低くなっております。 母子保健については成人保健に比べて相談件数はあるものの、虐待予防などの新たな専門的分野に対処できる状況ではなく、これからは、子育て世代に対しこれまで以上に手厚いサービスと専門的な相談体制を設ける必要があることから、人的にも施設的にも充実した体制を整える必要があります。 このことから、市では 2 か所ある保健施設を統合して人員を集約化し、新たに専門職員を配置し子育て世代包括支援センター機能を含む高度・専門的な健康づくりや専門的な相談の拠点とするほか、子育て支援センター、一時保育、こどもの室内遊び場の機能も追加した複合施設とすることとしたものです。 しかしながら、これまで通り、家庭訪問や電話による個々の健康相談を受け付けるほか、地域からの要望があれば、保健師による地域での健康相談も行い、さらに地域における健康づくり事業をこれまで通り推進してまいります。また、各種がん検診や特定健康診査の成人の集団検診につきましても、従前どおり実施できるよう取り図らってまいります。 なお、立体駐車場の利用利便性等については、北上市健康管理センター等整備デザイン会議の中で議論がされています。例えば、安全の確保や使いやすさの向上が必要との意見を受けて、駐車区画の拡大や歩行者の安全性確保策などの改善策について検討することとしており、今後、施設の改修を具体的に検討していきます。

No.	項目	該当 ページ	意見の内容	市の考え
	・学校 (中学校)	46	・江釣子中学校の建物がかなり古く、建替え予定はいつごろですか。部分補修では子供たちがかわいそうです。校舎の屋根もかなりさびています。青柳町の整備つかう予算があるのなら、屋根を塗ってほしいです。市の対応は全体的に江釣子に対して厳しいのではないですか。なんのための合併だったかとても疑問です。	・江釣子中学校は、1976年に建築され老朽化が進んでいるため、2018年度に実施設計、2019年度から長寿命化工事を行います。長寿命化工事では、屋根や外壁をはじめ、内装や設備など今後30年以上使用するために必要な改修を行う予定です。